

玉川野毛町公園拡張事業 基本計画 ～概要版～



■玉川野毛町公園拡張事業について



公園位置図

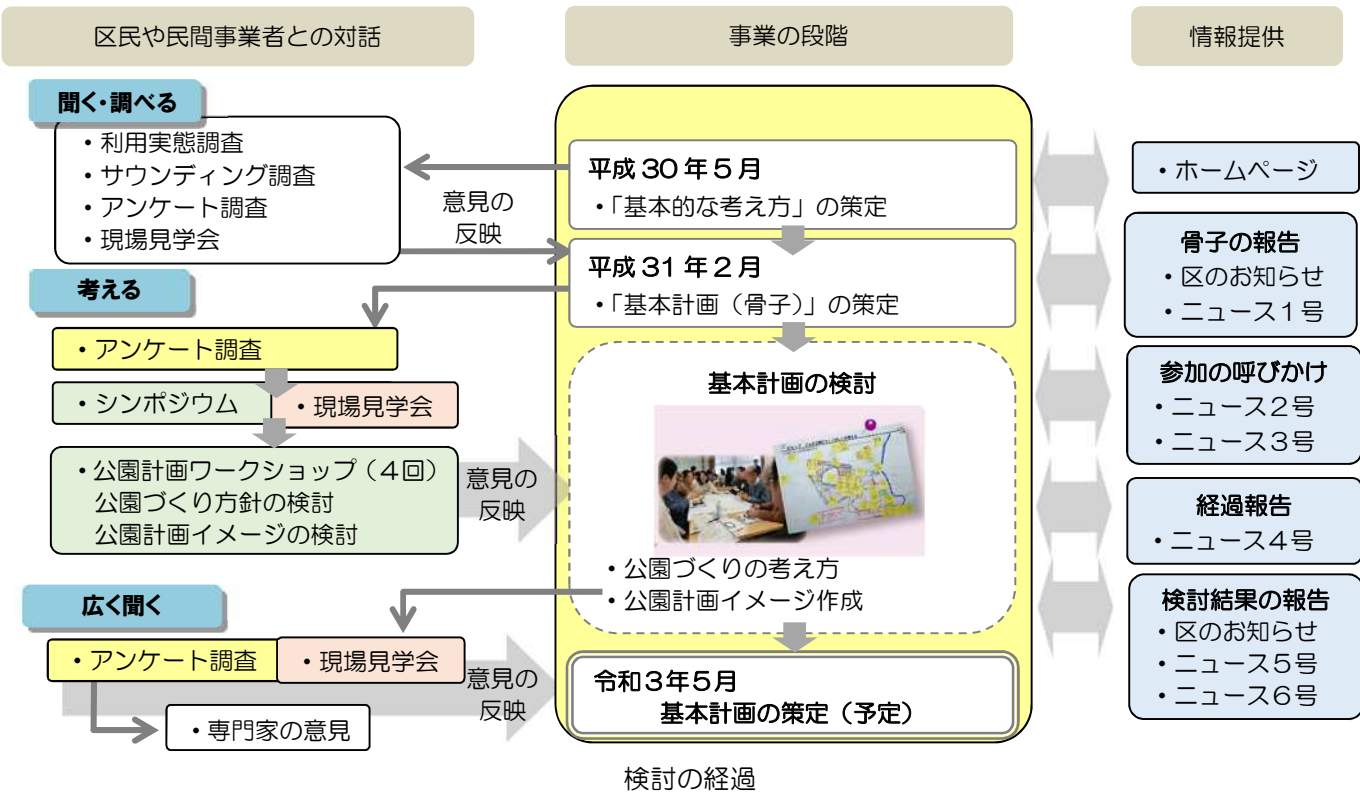
玉川野毛町公園に隣接する約 2.8ha の土地を拡張整備する玉川野毛町公園拡張事業を進めています。

～拡張予定地と周辺の特徴について～

- 拡張予定地の西側にはスポーツ施設がある既開園区域、東側には等々力溪谷が位置しています。
- 野毛大塚古墳をはじめ周辺には、古墳や横穴墓群が多く分布しています。
- 既開園区域と拡張予定地は、玉川野毛町公園一体として広域避難場所となっており、隣接する環状八号線は緊急輸送道路に指定されています。

■検討の経過について

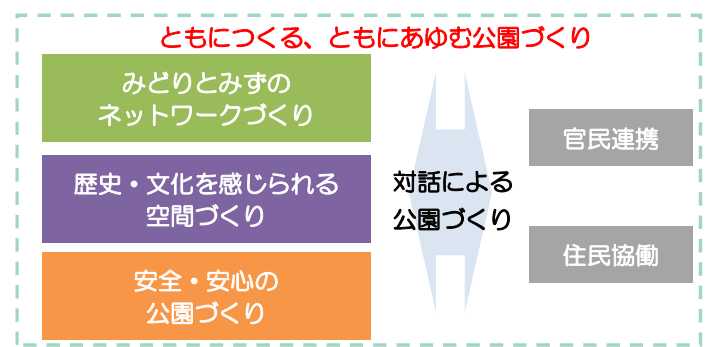
基本計画の作成にあたっては、区民や民間事業者と対話をしながら公園づくりを進めてきました。公園づくりの呼びかけや検討の経過など情報提供は、近隣（約 13,000 世帯）へのニュース配布や区のお知らせ、区ホームページなどで行いました。検討の経過は下図の通りです。



■公園づくりの考え方

○公園づくりの目標

世田谷の先人たちを育んだ
豊かなみどり、歴史文化を区民の手で大切に育み、
100年後も地域に愛される公園を目指します。



○公園づくりの方針

●とものつくる、とものあゆむ公園づくり

公園を身近な暮らしの舞台ととらえ、区民や事業者が主体的に関わり、公園の利用や活用を通じて、地域がつながり、楽しみひろがる魅力ある公園運営を行います。つくりこみすぎず、人との関わりにより少しずつ公園を育み、「余白をいかした公園づくり」を目指します。

●みどりとみずのネットワークづくり

国分寺崖線のみどり、等々力溪谷の豊かな自然とつながります。草地から森まで多様なみどりをみんなで作って、子どもから大人まで憩い楽しめる活動、自然の遊び、学びの場をつくりまします。

●歴史・文化を感じられる空間づくり

野毛大塚古墳等の文化財を通して、多摩川や国分寺崖線等の自然環境と歴史文化を守り伝える取り組み、学ぶ機会をつくりまします。また、野毛大塚古墳をシンボルに、公園と古墳がつながる景観をつくりまします。

●安全・安心の公園づくり

誰でも安心して訪れることができる公園をつくりまします。災害に備えた防災機能を持ち、地域の防災拠点として活用できるよう、広域避難場所、緊急輸送道路の特性を踏まえた災害に役立つ拠点ををつくりまします。

公園拡張計画の進め方（イメージ）

■公園の基本構成



土地利用計画図



こども広場（既開園区域）



オープンスペースと様々な樹木（拡張予定地）



公園計画イメージ（基本計画図）

拡張予定地の基本計画図を取りまとめました。また、公園の一体性やエントランスの魅力を高めるため、既開園区域の一部もあわせて基本計画を検討しました。

エントランスの再整備に伴い、テニスコートは既開園区域内に移設することとします。

みどりにつつまれた駐車場



イメージ

公園の顔となるエントランス

- みどりあふれるエントランスで来訪者を迎え、既開園区域、拡張区域、等々力溪谷を結ぶ。
- エントランス広場では飲食や物販を誘致し、日常的な公園利用の楽しみが広がる。



イメージ

活動をサポートするバックヤード

- 森づくりや様々な活動を支える。



イメージ

安全・安心の公園づくり

- 地域防災活動が行える広場や施設、災害時の車両の乗り入れなどを整備し、防災に役立つ公園となる。
- 公園に降った雨を溜め、雨水の流出を抑える施設（雨水貯留、浸透、グリーンインフラ等）をつくる。
- 防犯に配慮し、見通しの良い公園空間となる。
- 敷地境界部には緩衝帯をもうけ、プライバシーや景観に配慮する。

野毛大塚古墳

- 古墳と周辺の公園施設がつながり、公園のランドマークとなる。
- 古墳の魅力や地域の歴史を学び、伝える場となる。
- 古墳の保全に取り組む。



野毛大塚古墳

区道と公園の一体性

- 歩道状の園路をつくり安心して歩ける。
- 電柱の地中化を検討する。

濃いみどり



拡張区域 2019年撮影

イメージ

- これまで育まれたみどりを、等々力溪谷とつながる森としてみんなでつくり、育てる。
- 森のなかで生きものの住処づくりや落ち葉集め、生きもの観察など自然体験ができる。

拠点となる施設

- 住民参加により、日々様々な活動や交流、イベントが開催できる拠点となり、余白をいかした公園づくり、公園運営を実践する。
- 歴史文化・環境学習活動の拠点となる。
- 防災機能・軽飲食等を兼ねた施設を検討する。



イメージ

草地の広場

- 公園の中心となる広いオープンスペースで等々力溪谷から古墳までつながる。
- 古墳や富士山を眺めながら、のびのびゆったりと、過ごすことができる広場となる。



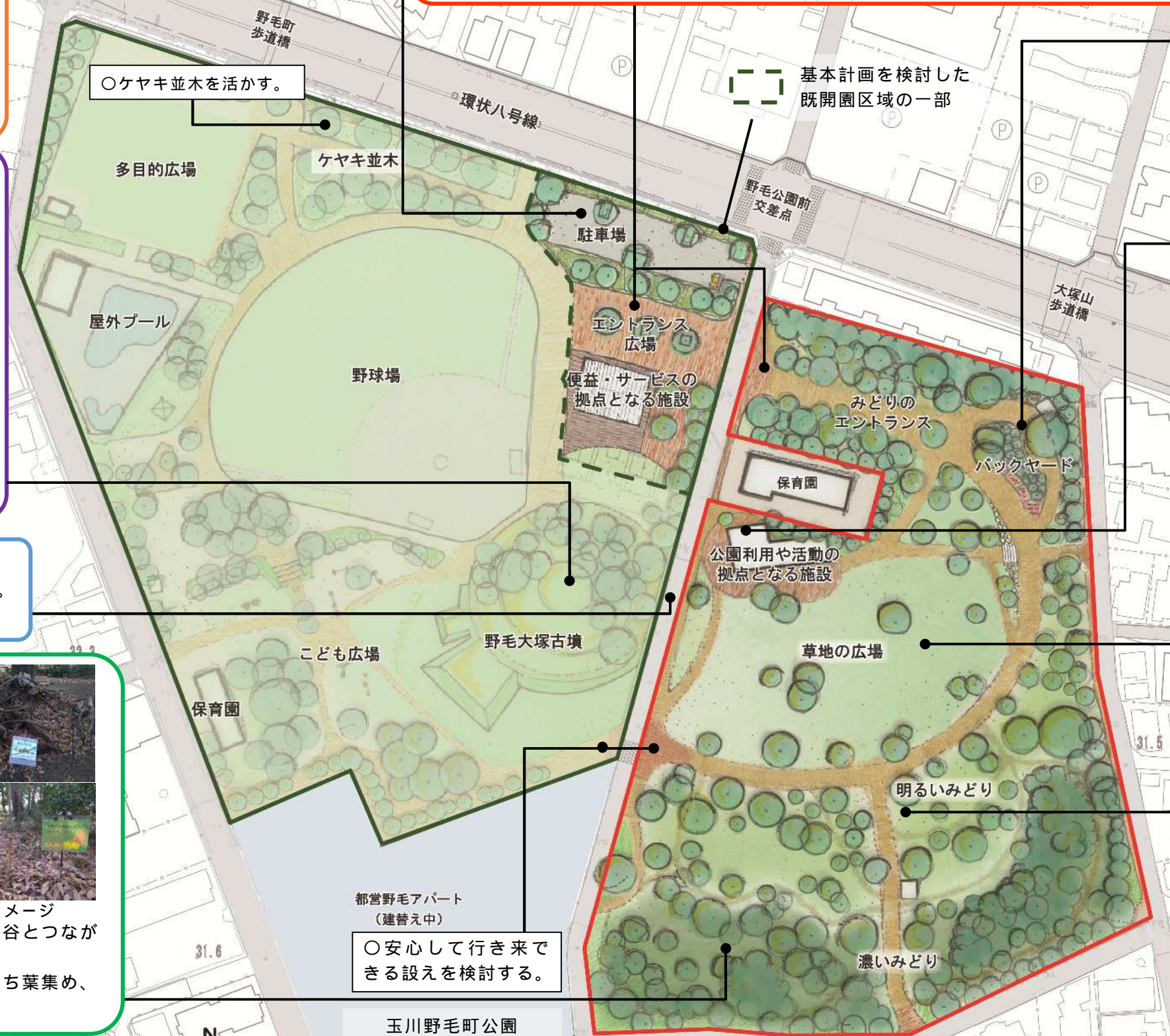
イメージ

明るいみどり

- 子どもたちは、みどりのなかで木々や土に触れて、自然の遊具で思いっきり遊ぶ。
- 大人たち、家族の利用では、心地よい木陰のなかで憩い、思い思いに過ごすことができる。



イメージ



○安心して行き来できる設えを検討する。

トイレは適切な位置に必要な数を配置する。スポーツ施設の受付や倉庫などの管理施設は、拠点となる施設との複合化等を検討する。避難所運営のための広域用防災倉庫を増設する。

